

2019
12/7Sat
13:00-14:00

会場

同志社女子大学今出川キャンパス
ジエームズ館J201

一般来聴歓迎 / 入場無料



体育・スポーツ

同志社女子大学の建学理念と

講師

濱口 義信氏

同志社女子大学名誉教授

1953年兵庫県明石市生れ。高知大学教育学部、筑波大学大学院修士課程体育研究科修了。四国学院大学を経て1986年同志社女子大学に奉職。

2019年同志社女子大学名誉教授。

主たる所属学会：日本スポーツ教育学会、日本体育・スポーツ哲学会、日本スポーツ社会学会。

体育は physical education の訳語ですが直訳すれば身体的教育で、教育の一側面を表す言葉です。同志社マークに象徴されている「知育・徳育・体育」（同志社大学ホームページ）の一つの柱でもあります。それに対してスポーツは楽しみ、娯楽として生み出されたもので、「気分転換にする遊び」というのが英語の sport の意味です。

人々が興味関心に基づいて自発的に取り組み、楽しみを大きく・深くするために技術や戦術などを高めていくのがスポーツ、その過程の教育的価値を利用して人格形成のツールとして用いるのが体育ということになります。

日本では意図的にスポーツを人間形成の手段の側面を強調しすぎた歴史があるので体育とスポーツの区別がつきにくくなっています。「体育」は一義的に「体育（現在はスポーツ健康科目と呼んでいる）」の授業のこと、そして課外活動としての「運動部」はスポーツと考えることができるでしょう。ただし教育機関としての学校が課外活動である学生の自発的・自律的な活動を援助するのはそこに教育的価値を認めているからということでしょう。また、中間的な形態としては学生部が主催していたキャンプなどがあります。

このような枠組みで Liberal Arts（自由学芸）の理念の表出として授業や運動部活動の歴史を整理してみたいと考えています。

《お問い合わせ》同志社女子大学史料センター

〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入 Tel：075-251-4200 E-mail：shiryo-i@dwc.doshisha.ac.jp

デザイン：情報メディア学科 藤本歩実